

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年9月16日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年9月16日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【3号機 使用済燃料構内輸送作業における不適切な防護装備のカバーオール使用について】 9月9日に回収したエコー委員会投書に、発電所敷地内のカバーオール着用エリアにおいて、空調服のファンから空気を取り入れるため防護装備のカバーオール2箇所にて穴を開けて使用している協力企業作業員がいたとの意見があった。 当該元請企業に事実確認を行った結果、3号機 使用済燃料構内輸送作業の協力企業作業員1名が、8月24日・25日の両日で当該行為を行っていたことを確認。 8月25日に当該協力企業の安全担当が同行為を発見したため注意および是正を行っており、以降の同様な行為がないことを確認。 また、両日とも退域時のサーベイにて身体汚染は確認されなかった。 今後、再発防止対策を検討。</p>	G II	9月15日
2	<p>【増設多核種除去設備吸着塔7の吸着材用高性能容器の照明用変圧器故障について】 増設多核種除去設備吸着塔7の吸着材用高性能容器の液位を目視確認する際に使用する照明について、照度調整のダイヤルゲージを回して照度を高くすると、照明およびカメラの電源が落ちることを当直員が確認。 照度の低い状態であれば使用可能。 今後、対応方法を検討。</p>	G III	9月10日
3	<p>【放射線計測器に貼付している校正表ラベルの誤りについて】 9月11日、協力企業の放射線管理員が、放射線計測器に貼付している校正表ラベルに誤記があることを発見。 計測器貸出委託員が対象計測器の校正成績書と校正表ラベルを照合したところ、校正表ラベルの換算定数が一桁高いことを確認。 また、9月14日現在使用している当該計測器以外の計測器について、校正表ラベルの記載に誤りがないことを確認。 9月15日、当該計測器は校正日以降、作業時の汚染の程度確認のために使用されたが、記録を作成するような測定には使用されていないことを確認。 原因は、校正表ラベルの作成時、計算結果をエクセルに誤入力し、校正表ラベルと校正成績書でダブルチェックを行っていたものの、誤りを見逃したものと推定。 今後、再発防止対策を検討。</p>	G III	9月11日
4	<p>【1号機 原子炉格納容器アクセスルート構築作業用ポリエチレン製タンクのドレンラインからの水の漏えいについて】 1号機 原子炉建屋西側大物搬入口前に設置している原子炉格納容器アクセスルート構築作業用ポリエチレン製タンクのドレンラインから、水が漏えいしていることを協力企業作業員が確認。 当該工事の協力企業作業員にて、ドレン弁の増し締め・閉止栓を取り付けし、漏えい停止を確認。 当該タンク内の水の汚染はなく、作業に使用のするためのろ過水。 聴取調査において、前日17時の作業終了時点ではドレン弁の閉確認を実施しており、漏えいは確認されていない。 今後、ポリエチレン製タンクドレンラインは、ドレン弁と閉止栓による二重の閉止を実施予定。</p>	G III	9月11日